

## 第17回かごしまジュニア検定 模範解答

### 問1.①

[解説]鹿児島県には市が19市、町が20町、村が4村の合計43市町村です。(テキストP1~P2)

### 問2.②

[解説]鹿児島県の北の端・長島町から南の端・与論町まで約600kmの距離があります。(テキストP2)

### 問3.③

[解説]錦江湾は、南北約80km、東西約20kmの細長い湾で、正式な名前は鹿児島湾といます。(テキストP3)

### 問4.③

[解説]鹿児島県には、活火山が11もあり、多くの温泉が湧き出ています。(テキストP4)

### 問5.②

[解説]始良市蒲生町の蒲生八幡神社にある楠は、根まわりが33m、幹まわり24m、高さ30mもある日本一の巨木です。(テキストP5)

### 問6.①

[解説]鹿児島県の県の木は、カイコウズとクスノキで、カイコウズはアルゼンチンの国花でもありません(テキストP5)

### 問7.②

[解説]鹿児島県のウミガメの上陸地として大浜(奄美市)、いなか浜(屋久島町)、竹崎海岸(南種子町)が有名で、中でも屋久島に半数以上上陸します。(テキストP6)。

### 問8.③

[解説]宝暦4(1754)年、江戸幕府の命令で、薩摩藩は今の岐阜県などを流れる木曾・長良・揖斐川の治水工事を行いました。このことがきっかけで、鹿児島県と岐阜県は姉妹県となっています。(テキストP7)

### 問9.③

[解説]島津家第28代当主の斉彬は、西洋の事情にも詳しく、日本初の日本人による写真撮影の被写体になっています。(テキストP8)

### 問10.①

[解説]1862年、島津久光の行列が現在の神奈川県である生麦村で、イギリス人リチャード一行と行きかけた際、「無礼を働いた」として、薩摩藩士が斬りつけました。(テキストP9)

問 11. ③

[解説]明治維新後、政策をめぐり大久保利通らと対立した西郷隆盛は鹿児島に戻り、青年たちの教育に努めました。その後、西郷は熊本で政府軍と衝突し、西南戦争がはじまりました。(テキスト P9)

問 12. ①

[解説]東郷平八郎は、日本海軍の発展に努め、日露戦争では、連合艦隊司令長官としてロシアのバルチック艦隊を破り「東洋のネルソン」と呼ばれました。(テキスト P10)

問 13. ③

[解説]「片耳の大シカ」「マヤの一生」などが代表作。戦後は、県立図書館長を務め、「母と子の20分間読書運動」を提唱しました。(テキスト P11)

問 14. ②

[解説]闘鶏用に飼育されてきた薩摩鳥は、鹿児島県が長年品種改良を重ねて現在の「さつま地鶏」になりました。(テキスト P12)

問 15. ①

[解説]黒豚は、全身が真っ黒ですが、前足2本、後ろ足2本、鼻、しっぽの6か所だけが白く、「六白」と呼ばれます。(テキスト P13)

問 16. ①

[解説]長渕剛には、「順子」や「とんぼ」「乾杯」といったヒット曲があり、2004年に桜島で行ったライブでは7万5千人を動員しました。(テキスト P14)

問 17. ③

[解説]国指定の鹿児島県の伝統的工芸品として、大島紬、薩摩焼、川辺仏壇が指定されています。(テキスト P15)

問 18. ①

[解説]大正元(1912)年、鹿児島に初めて路面電車が登場しました。開業当初は鹿児島市の谷山～武之橋間を運行していました。(テキスト P16)

問 19. ②

[解説]霧島連山にある大浪の池は日本一標高が高い火口湖で、湖の一番高いところで1,412m、湖面の高さ1,239mのところにあります。(テキスト P17)

問 20. ①

[解説]1600年の関ヶ原の戦いで敵中突破をした島津義弘を偲び、日置市にある妙円寺に、鹿児島市や南さつま市加世田方面から青少年を中心に人々が歩いて参拝します。(テキスト P18)